



2024年4月10日

環境大臣 伊藤 信太郎 殿

日本ヒューレット・パカード合同会社  
代表執行役員社長  
望月 弘一

## エコ・ファーストの約束

### ～環境先進企業としての地球環境保全の取り組み～

日本ヒューレット・パカード（以下、HPE）は、ビジネス目標の達成を推進すると共に、環境、社会、ガバナンス（ESG）への取り組みにも力を注いでおり、当社のビジネス戦略に ESG を直接取り入れています。気候変動に強い、デジタルインクルーシブな世界の実現というビジョンのもと、社会と環境に好影響を及ぼすソリューションの開発に尽力するとともに、当社のお客様、株主、社員、および HPE が事業を展開するコミュニティに最大の価値を提供することを目指します。

#### 1. ネットゼロの加速

- 2040年までに、バリューチェーン全体でGHG排出量のネットゼロを目指します。
- 2030年までに、スコープ1及び2で70%減（2020年比）します。それに向け2030年までに、事業活動で使用する電力を100%再生可能エネルギーに移行します。また2035年までに自社車両をEV（電気自動車）に移行します。
- 2030年までに、スコープ3で42%減を目指します。それに向けHPEソリューションのご利用によって発生する排出量削減に向け、サステナブルなITソリューションをお客様に提供します。また、サプライチェーンからの排出量削減への取り組みとして、気候科学に基づくサプライチェーンプログラムを推進します。
- 物流によるGHG排出に対処するために、有効と思われる手段を3つ特定し、物流の最適化を図ります。
  - 手段の移行：航空から、海洋や陸上といった、排出量の少ない輸送手段に移行する。
  - クリーンな燃料の模索：水素などのクリーンな燃料を探し検討する。
  - 最適化：ソフトウェアを利用し、ルート最適化や、トラックへの最大量の積載といった、物流の効率化を追求する。
- Clean Energy Buyers Association（CEBA）やRE100への参加を通じて、電力のグリーン化政策を支援します。
- HPEは業界に先駆け2022年にSBTネットゼロ認定を受けました。これからもステークホルダーに対しTCFD提言に沿った情報開示、スコープ3までを含めたバリューチェーン全体のGHG排出量などESG情報を透明性を確保し提供していきます。

## 2. 循環的で責任あるIT製品ライフサイクル管理の推進

- 製品ライフサイクルを全体的なアプローチで常に管理し、製品寿命の延長、脱物質化、廃棄物の最小化を設計当初から念頭に置くことで、お客様がTCOを向上させ、環境への影響を削減しサーキュラーエコノミーが実現できるよう努めていきます。
- 事業活動およびサプライチェーン全体にわたり、有害廃棄物と無害廃棄物を、責任を持って管理および処理します。
- 輸送中の安全性に影響を与えずに、梱包材のリユース性とリサイクル性を向上させることを目指します。

## 3. 製品の安全性確保を最重視

- 潜在的な制限物質を特定して除去し、世界と地域における新たな規制へのコンプライアンス維持に努めます。

## 4. 責任ある水の使用

- バリューチェーン全体のウォーターフットプリント（水使用量）の削減に取り組みます。

日本ヒューレット・パッカード合同会社は、上記の取り組みの進捗状況を確認し、その結果をホームページなどで定期的に公表するとともに、環境省へ報告します。